

社会民主党 佐々木あけみ
山口県議会議員

絆きずな通信



No.59
2015年 早春

〒755-0026 宇部市松山町1-11-11 | E-mail : sdpakemi@minos.ocn.ne.jp
TEL.0836-22-0895 FAX.0836-32-5700 | http://www1.ocn.ne.jp/~sdpakemi/



くらしと現場の声を大切に 初心忘れず、挑戦しつづけます

安倍さん、白紙委任していませんよ!!

戦後最低の投票率となった年末の総選挙は、小選挙区制度のカラクリで、結果的に自公政権の大勝を許してしまいました。

選挙終了後の安倍さんの第一声は、「今後、憲法改正を国民に問う」でした。

やっぱり!しかし、選挙中は争点隠しをして、国民の関心の高い憲法や集団的自衛権、原発問題など、ほとんど語らなかったのに、あまりに姑息です。

「戦争の実態を知らぬ指導者たちが勇ましく吠え、戦いの準備をする日本。危機が身近に、祖国が遠くになってきた。」

これは、アフガニスタン国内で医療や用水路建設など民生支援を継続しているペシャワール会代表の中村哲医師のことばです。

格差拡大・弱い者いじめの安倍政権

アベノミクス効果が地方に及んでいない—86%、日本社会は格差が広がった—70%(1/17毎日新聞調査)。これが庶民のくらしの実態です。

新年度予算についての新聞報道の中ですら「弱者へのしわ寄せ」「富裕層重視」という文字が目をはきます。

大企業に恩恵が集中する法人税率の引き下げを行うとともに、中小企業への課税強化がもくろまれています。



また、「企業が世界一活動しやすい国」として、働き方の規制緩和・雇用ルールの改悪が予定されています。

「地方創生」を唱えつつ、人口減少・少子化問題の大きな根源である非正規・不安定労働者をいっそう増加させる政策です。(現在、非正規労働者は働く人の約40%、2000万人)

あなたが主役の県議選

清き一票 みなあけみ — 作豊

実質賃金が17ヶ月連続で減少、消費者物価が18ヶ月連続で上昇しています。(日銀の生活意識調査)

いま、県政に対するもっとも大きな要望は、子育て支援・雇用・社会保障制度の充実など、日々のくらしの基盤整備です。

少子高齢化県の先頭を走る山口県にとって、当然の県民要望であり、切実な課題です。

一方で、「保守王国」のレッテルが貼られている山口県が、レッテル通り、このような安倍政権に翼賛的であってはなりません。

格差を広げる政策にはノー、働く人や弱い人、小さい声の代弁者として、めげずにひるまずがんばります!!また、お世話になります!!

みなさまお元気で!! 2015年1月28日 記

あけみ会

いちがん

一丸となり 県議選

— 作実男

佐々木あけみ

◀仲間と力をあわせて今年もがんばろう!

1/14 社民党宇部支部旗びらき